

## 1. 国・県・市の計画について

- 国が平成23年6月にスポーツ基本法を制定（50年ぶりにスポーツ振興法を全部改正）  
「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」  
の創出を目指すため、平成24年3月にスポーツ基本計画の策定

- 県 スポーツ推進計画（平成25年3月）

- 市

- ①第六次鳴門市総合計画（平成24年3月策定）

「生涯スポーツの振興」→①スポーツ施設の整備、②スポーツ活動の推進

- ②鳴門市スポーツ推進計画（2015～2024年）2017年検証、2020年見直し  
（背景）

- ・平成32年に夏季オリンピック・パラリンピック競技大会が56年ぶりに東京で開催決定。全国的にスポーツに対する機運が高まり、市民のスポーツへの興味や関心も深まっていくことが期待される。

（趣旨）

- ・スポーツには、市民のニーズに対応し、地域社会の課題解決を図っていくことが期待されていることから、スポーツの価値や社会的役割の重要性に鑑み、この計画を鳴門市のスポーツ推進に関する基本方針とする。

（定義）

- ・スポーツの定義は「余暇活動として行われるスポーツ、レクリエーション」とする。

（体系）

基本理念「スポーツうずまくまち なる」と

基本目標1 子ども・青少年の体育・スポーツ機会の充実

心身の成長過程にある子ども・青少年の体力の向上や生涯に渡って健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む。

学校における、体育・スポーツ活動や地域のスポーツ活動の支援

施策（1）子ども・青少年のスポーツ活動の推進

施策（2）学齢期の体育活動機会の充実

基本目標2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、心身の健全な発達等のため、生涯

にわたりライフステージに応じたスポーツ活動が行えるように、スポーツ機会の創出、活動の支援を行う。

- 施策（１）スポーツの参加機会の拡充
- 施策（２）高齢者のスポーツ活動の支援
- 施策（３）障がい者のスポーツ活動の支援
- 施策（４）競技スポーツの支援

### 基本目標 3 市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

体育協会や、推進委員会、総合型地域スポーツクラブ等との連携、市民との協働によりスポーツに親しむことが出来るスポーツ環境を整備する。地域社会の活性化及び一体感の醸成に繋げ、地域の間関係希薄化への対応とする。

- 施策（１）スポーツの関連組織への支援
- 施策（２）スポーツ活動における安全の確保
- 施策（３）スポーツ施設の改修・整備の検討

（備考）鳴門市のスポーツ関連組織（平成 27 年 2 月現在）

- ①体育協会（25 団体）
- ②スポーツ少年団（37 団体…小学生の 2 割程度が加入）
- ③総合型地域スポーツクラブ（一般社団法人 NICE、NARUTO 総合型スポーツクラブ）
- ④スポーツ推進委員会（スポーツを推進するためにスポーツ基本法に基づいて任命される任期 2 年の非常勤職員 25 名で構成、各小学校区及び事務局の推薦）

## 2. 鳴門市スポーツ推進計画実施状況（平成27年度～）

### （1）年度実施状況

#### 27年度実施状況

市出身の里崎智也氏を鳴門市スポーツアドバイザーに任命し、鳴門市チャレンジデーにおいて野球教室を開催し、子どもが野球に親しむ機会を提供した。チャレンジデーにおいては他に、徳島インディゴソックス選手参加の体操や、徳島ヴォルティスの選手が学校に出向いてサッカー教室を開催した。冬にはインディゴソックスと連携しスポーツフェスティバルを開催し、普段スポーツする機会の少ない子どもにも参加を呼びかけた。生涯スポーツ推進事業を創設し、事業の実施団体により、子ども対象のダンス教室や親子で楽しむエアロビクス等が実施された。鳴門市スポーツ推進委員による体力測定会も開催され、多くの子どもたちがスポーツに触れあう機会を提供した。

総合型地域スポーツクラブ、市体育協会の加盟団体による学校への指導者派遣も実施された。

#### 28年度実施状況

鳴門市スポーツアドバイザーである里崎智也氏による講演会を学生・一般の市民を対象に実施した。「夢は超えられる」と題し、一線で活躍された自身の野球人生を通じた教訓が語られ、多くの参加者が満足のいく内容であった。

スポーツ少年団の団員募集を兼ねたテレビ鳴門による取材の放送。スポーツ少年団の指導者や保護者を対象に、大学教授を招き、暴力排除の研修会を実施した。また、東京より講師を招き、怪我をしたときの対応方法等を学ぶ講習会も体育協会指導者等を対象に実施した。

冬には鳴門市陸上競技協会、鳴門市スポーツ推進委員と協力してスポーツ少年団駅伝競走大会を開催し、多くの団員が参加した。

総合型地域スポーツクラブによる生涯スポーツ推進事業補助金を活用した、障がい者向けのニュースポーツ、軟式野球が実施された。他にも補助事業実施団体によりカローリングを通じた子どもと高齢者の触れ合いもあり多世代の交流の場が提供された。

#### 29年度実施状況

7月30日にスポーツ推進委員の徳島県大会が鳴門市で実施され、県内各地のスポーツ推進委員が参加。ニュースポーツの体験や、障がい者バスケットボールの体験を実施。

8月には、総合型地域スポーツクラブ、鳴門市スポーツ推進委員会共催によるスポーツに携わる人たちが身につけておくべきことを学ぶ防災研修会の実施。

8月24日には鳴門市市制施行70周年記念事業として夏期巡回ラジオ体操・みんな

なの体操会を実施。早朝より鳴門市ウチノ海総合公園へ、市内外から老若男女1,222人が参加するイベントとなった。

2017 IAU 24時間走世界選手権大会優勝の石川佳彦選手が、鳴門市スポーツ少年団駅伝競走大会、クロスカントリー大会へ参加した。

市制施行70周年を記念して、クロスカントリー大会で参加者全員に記念タオルを配布、コースを変更し、10キロという距離の長い部門の出発を、早い時間帯に持つてくることで、制限時間を気にせず走れる、ランナーに親しみやすい内容とした。

桑島テニス場で硬式の出来るコート2面への改修工事が実施された。残り3面も改修中。

(注)

以下、体系別実施状況に(新規)の記載がある場合は、鳴門市スポーツ推進計画策定後に、計画に基づき、新規に市や関係団体が実施を行ったものである。

## (2) 体系別実施状況

基本目標1 子ども・青少年の体育・スポーツ機会の充実

- 目標
- ・小、中学生の過去1年間の運動・スポーツの非実施者の割合をゼロに近づける
  - ・小学5年、中学2年の体力合計点を引き続き全国平均点以上を目指す。

### 施策(1) 子ども・青少年のスポーツ活動の推進

#### ① スポーツ活動機会の充実

鳴門市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、徳島ヴォルティス・徳島インディゴソックス等のスポーツ関連組織、鳴門市スポーツアドバイザーと連携し幼児期からスポーツに触れる機会を創出する。

(27年度)

- ・チャレンジデーイベントにおいて、インディゴソックス選手を招き、妖怪体操の実施。
- ・チャレンジデーイベントにおいて、ヴォルティス選手が、幼稚園・小学校においてサッカー教室などを実施。
- ・チャレンジデーイベントにおいて、総合型地域スポーツクラブにより、様々な年齢層を対象としたイベントの実施。
- ・生涯スポーツ推進事業補助金を創設し、事業実施団体により親子を対象にしたエアロビクス、サッカー教室、ダンス教室が実施された。 (新規)
- ・10月11日に鳴門・大塚スポーツパーク第2陸上競技場にて、鳴門市体力測定会を鳴門市スポーツ推進委員が主となり実施した。  
握力、反復横跳び、10m障害物歩行などにより、小学生が主に参加し体力の測定をおこなった。 延べ、100人が参加。 (新規)
- ・12月12日(土)に鳴門市子どもスポーツフェスティバルをインディゴソックス協力のもと、鳴門市総合運動場(市営球場)において実施。スポーツ少年団団員、普段スポーツしない子ども、保護者も含め、50名程度により野球体験をおこなった。 (新規)

(28年度)

- ・チャレンジデーイベントにおいて、インディゴソックス選手を招き、ラジオ体操の実施。
- ・チャレンジデーイベントにおいて、ヴォルティス選手が、NARUTO 総合型スポーツクラブのイベントへ協力し、子ども対象のイベントを実施。
- ・生涯スポーツ推進事業補助金を活用した事業実施団体により女子サッカー教室、ダンス教室が実施された。カローリングにおいては、学校が休みの日に実施し、子どもを参加者と

して招くなど工夫を凝らし、多世代がふれあうイベントも実施された。 (新規)

- ・9月25日(日)に鳴門市スポーツアドバイザーの里崎智也氏による講演会を鳴門市うずしお会館で開催。鳴門市体育協会加盟団体等に呼びかけ、小学生30名、中学生50名程、保護者、監督、一般の方も多数集まり、136名の参加者により開催。「夢は超えられる」と題し、これまでの野球人生を通しての教訓を伝え、中学生への技術指導、写真撮影も行い、参加者も満足するような講演会となった。 (新規)

(29年度)

- ・チャレンジデーイベントにおいて、インディゴソックス選手を招き、ラジオ体操の実施。
- ・チャレンジデーイベントにおいて、ヴォルティス選手が、ニュースポーツ体験のイベントへ参加し、また、幼稚園・小学校においてサッカー教室などを実施し触れ合った。
- ・生涯スポーツ推進事業補助金を活用した事業実施団体により普段スポーツをする機会の無い高齢者や幼児対象の事業を実施。 (新規)

## ②スポーツ少年団の活動支援

(27年度)

表②参照

- ・鳴門市広報番組において9月(堀江北野球と鳴門少年剣道教室)と平成28年3月(堀江北ミニバスケットボールクラブ、鳴門いもっこクラブ)に、スポーツ少年団4団体の活動紹介VTRをテレビ鳴門にて放映した。活動内容の紹介、新規団員の募集もかねる。
- ・スポーツ少年団認定員養成講習会の案内を行い、各団に有資格指導者が2名以上(スポーツ少年団登録条件)となるよう指導した。各単位団より延べ21名が参加。
- ・鳴門市子どもスポーツフェスティバルにおいて、講師を招いて指導者講習会を実施した。 (新規)
- ・学校体育施設耐震工事期間中は、市民会館・体育センターの無料開放をした。
- ・市長杯少女バレーボール大会のメダル等報賞品購入補助
- ・夏季野球大会メダル等報賞品購入補助
- ・チャレンジデーイベントにおいて、元プロ野球選手里崎智也氏による野球教室を開催、少年団団員に周知し触れ合う機会を作った。(里崎氏は任期2年の鳴門市スポーツアドバイザー) (新規)

(28年度)

- ・鳴門市広報番組において9月(桑島FCと鳴門第一JVC)と平成29年3月(鳴門第一少年野球と鳴門大毛島卓球クラブ)に、スポーツ少年団4団体の活動紹介VTRをテレビ鳴門にて放映した。活動内容の紹介、新規団員の募集もかねる。
- ・スポーツ少年団認定員養成講習会の案内を行い、各団に有資格指導者が2名以上(スポー

ツ少年団登録条件) となるよう指導した。各単位団より延べ13名が参加。

- ・市長杯少女バレーボール大会のメダル等報賞品購入補助
- ・夏季野球大会メダル等報賞品購入補助
- ・9月25日(日)に鳴門市スポーツアドバイザーの里崎智也氏による講演会を鳴門市うずしお会館で開催。スポーツ少年団にも周知を行った。 (新規)

(29年度)

- ・鳴門市広報番組において8月(板東リーダーズと少林寺拳法大麻)に、スポーツ少年団2団体の活動紹介VTRをテレビ鳴門にて放映した。活動内容の紹介、新規団員の募集もかねる。
- ・スポーツ少年団認定員養成講習会の案内を行い、各団に有資格指導者が2名以上(スポーツ少年団登録条件)となるよう指導した。各単位団より延べ10名が参加。
- ・市長杯少女バレーボール大会のメダル等報賞品購入補助
- ・夏季野球大会メダル等報賞品購入補助
- ・3月4日(日)にうずしお会館にて鳴門市スポーツアドバイザー里崎氏の講演会を実施し、参加者は約100名。スポーツ少年団にも周知をしましたが、今回は高校生の参加が多かった。

### ③スポーツ大会等の開催(子ども・青少年)

(27年度)

- ・5月27日 鳴門市チャレンジデーの開催。 表⑤参照  
30,295人 49.9%の参加率
- ・11月22日 第38回 鳴門市スポーツ少年団駅伝競走大会の開催。 表①参照  
スポーツ少年団 男子13チーム、女子3チーム参加 130人  
保護者等含め 400人程度参加
- ・第62回徳島駅伝への中・高校生の出場(総合成績は5位)。
- ・28年2月14日 第43回クロスカントリー大会の実施。  
8歳(小学3年生)~80歳までの老若男女372名が参加。  
小学生…207人 中学生…47人 高校生…49人
- ・体育協会加盟団体による各種大会開催。

(28年度)

- ・5月25日 鳴門市チャレンジデーの開催。  
35,142人 58.5%の参加率
- ・12月11日 第39回 鳴門市スポーツ少年団駅伝競走大会の開催。

スポーツ少年団 男子14チーム、女子3チーム参加 141人

保護者等含め 400人程度参加

オープン参加により、大会出場メンバー以外の子どもも、第1区間で60名程度走り、盛り上がりのある大会となった。

- ・第63回徳島駅伝への中・高校生の出場。小学生も試行的に出場。

(総合成績1位。大会3日間全て1位の完全制覇となった。)

- ・29年2月26日 第44回クロスカントリー大会の実施。

8歳(小学3年生)～75歳までの老若男女368名が参加。

小学生…228人 中学生…34人 高校生…51人

- ・体育協会加盟団体による各種大会開催。

(29年度)

- ・5月31日 鳴門市チャレンジデーの開催。

38,115人 64.0%の参加率

- ・8月24日 早朝6時より夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を開催。

1,300人(公表1,222人)程度の参加者により盛大に実施された。 (新規)

- ・12月10日 第40回 鳴門市スポーツ少年団駅伝競走大会の開催。

スポーツ少年団 男子13チーム、女子2チーム参加 124人

保護者等含め 400人程度参加

オープン参加により、大会出場メンバー以外の子どもも、男女第1区間で70名程度走った。市制施行70周年さらには40回目の駅伝競走大会ということもあり、記念タオルを作成、出場者へ配布した。

- ・第64回徳島駅伝への中・高校生の出場。小学生も試行的に出場。

(総合成績1位。2連覇を達成。)

- ・平成30年2月25日 第45回クロスカントリー大会の開催。

8歳(小学3年生)～79歳までの老若男女290名が参加。

小学生…161人 中学生…31人 高校生…26人

- ・体育協会加盟団体による各種大会開催。

#### ④スポーツボランティアとの連携(拡充)

鳴門市のスポーツ関連組織と連携し、日常的なスポーツ指導や大会運営等、スポーツを支えるボランティアスタッフを発掘・育成する。

(27年度)

- ・総合型地域スポーツクラブで、活動を支えてくれるスタッフを発掘・育成し、イベント運営の補助を行った。



(28年度)

- ・総合型地域スポーツクラブで実施する各種教室開催の準備、徳島マラソン等の手伝いを通じ、活動を支えてくれるスタッフを発掘・育成し、大きな大会や、障がい者の大会イベント運営の補助等を行った。

(29年度)

- ・総合型地域スポーツクラブで実施する各種教室開催の準備、ジングルベルマラソン等でのボランティアを通じ、活動を支えてくれるスタッフを発掘・育成し、大きな大会や、障がい者の大会のイベント運営補助等を行った。

## 施策（２）学齢期の体育活動機会の充実

### ①小中学生の体育活動への支援

小中学生の体力の増進や競技力の向上等を図り、スポーツへの興味・関心を喚起するため、小学校体育連盟及び中学校体育連盟が実施する体育活動を支援。

(27年度)

- ・中学校体育連盟への補助金550,000円交付。
- ・小学校陸上運動記録会のメダル等報償品提供、賞状作成。
- ・小学校水泳能力検定会賞状の作成。
- ・小学校陸上運動記録会への移動バス借り上げ。
- ・中学校陸上競技大会への移動バス借り上げ。

(28年度)

- ・中学校体育連盟への補助金550,000円交付。
- ・小学校陸上運動記録会のメダル等報償品提供、賞状作成。
- ・小学校水泳能力検定会賞状の作成。
- ・小学校陸上運動記録会への移動バス借り上げ。
- ・中学校陸上競技大会への移動バス借り上げ。

(29年度)

- ・中学校体育連盟への補助金550,000円交付。
- ・小学校陸上運動記録会のメダル等報償品提供、賞状作成。
- ・小学校水泳能力検定会賞状の作成。
- ・小学校陸上運動記録会への移動バス借り上げ。
- ・中学校陸上競技大会への移動バス借り上げ。

## ②四国大会及び全国大会等出場支援

中学生の競技力向上を図るため、大会に出場する選手の旅費等の経費を負担する。

(27年度)

- ・鳴門市体育協会及び鳴門市スポーツ振興後援会から小学校体育連盟及び中学校体育連盟への活動費、補助金支出。  
選手への全国大会等出場の激励金の交付。

(28年度)

- ・鳴門市体育協会及び鳴門市スポーツ振興後援会から小学校体育連盟及び中学校体育連盟への活動費、補助金支出。  
選手への全国大会等出場の激励金の交付。

(29年度)

- ・鳴門市体育協会及び鳴門市スポーツ振興後援会から小学校体育連盟及び中学校体育連盟への活動費、補助金支出。  
選手への全国大会等出場の激励金の交付。

## ③スポーツ指導者の活用（拡充）

専門的知識・技術を持つ地域のスポーツ指導者の、小・中学校の体育授業や部活動等といった学校教育現場での活用。

(27年度)

- ・柔道、剣道、体操等の体育協会加盟団体及び総合型地域スポーツクラブより指導者の学校への派遣。

(28年度)

- ・体育協会加盟団体及び総合型地域スポーツクラブの仲介により、体操や陸上、サッカー競技の指導者が小学校、幼稚園の授業へと派遣された。

(29年度)

- ・柔道、剣道、体操等の体育協会加盟団体及び総合型地域スポーツクラブより指導者の学校への派遣。

#### ④顕彰制度の推進（子ども・青少年）

県記録の樹立や四国大会・全国大会等で優秀な成績を残した小中高校生を表彰し、スポーツに対する意欲を高める。

（27年度）

表④参照

- |               |        |                              |
|---------------|--------|------------------------------|
| ・鳴門市教育委員会表彰   | 小学生10名 | 陸上運動記録会                      |
|               | 中学生20名 | 四国中学校総合体育大会                  |
| ・鳴門市体育協会表彰    | 小学生23名 | ラグビーフットボール協会、<br>板東野球スポーツ少年団 |
|               | 中学生20名 | 柔道協会、中学校体育連盟                 |
|               | 高校生1名  | 体操協会                         |
| ・鳴門市スポーツ少年団表彰 | 小学生16名 | 板東野球スポーツ少年団                  |

（28年度）

- |               |        |                                 |
|---------------|--------|---------------------------------|
| ・鳴門市教育委員会表彰   | 小学生 3名 | 陸上運動記録会                         |
|               | 中学生22名 | 四国中学校総合体育大会                     |
| ・鳴門市体育協会表彰    | 小学生 1名 | 少林寺拳法大麻                         |
|               | 中学生23名 | 柔道協会、弓道協会、<br>中学校体育連盟（軟式野球・体操部） |
|               | 高校生 9名 | 体操協会、陸上競技協会<br>鳴門高等学校硬式野球部      |
| ・鳴門市スポーツ少年団表彰 | 小学生1名  | 少林寺拳法大麻                         |

（29年度）

- |               |        |                             |
|---------------|--------|-----------------------------|
| ・鳴門市教育委員会表彰   | 中学生 1名 | 体操競技                        |
| ・鳴門市体育協会表彰    | 小学生35名 | 大津西スポーツ少年団、<br>ラグビーフットボール協会 |
|               | 中学生 1名 | 柔道協会                        |
|               | 高校生 3名 | 柔道協会、陸上競技協会<br>ラグビーフットボール協会 |
| ・鳴門市スポーツ少年団表彰 | 小学生19名 | 大津西スポーツ少年団                  |

## 基本目標 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 目標
- ・成人の週1回以上の運動実施割合65%程度を目指す。
  - ・鳴門市チャレンジデーへの参加率60%を目指す。
  - ・スポーツボランティアの実施率の増加を目指す。

### 施策（1）スポーツの参加機会の拡充

#### ①日常的にスポーツに参加することができる機会の提供（拡充）

（27年度）

- ・体育協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブにより市民のスポーツニーズに対応したプログラムや教室、大会など、多様なスポーツの場の提供がされた。
- ・生涯スポーツ推進事業補助金を創設し、事業実施団体により、高齢者を対象にした太極拳、ストレッチ運動などを取り入れたいきいき運動教室等が実施された。

（28年度）

- ・体育協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブにより市民のスポーツニーズに対応したプログラムや教室、大会など、多様なスポーツの場の提供がされた。
- ・生涯スポーツ推進事業補助金を活用した事業実施団体により、幅広い年齢層を対象にしたカローリング、障がい者を対象としたニュースポーツが実施された。

（29年度）

- ・体育協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブにより市民のスポーツニーズに対応したプログラムや教室、大会など、多様なスポーツの場の提供がされた。
- ・生涯スポーツ推進事業補助金を活用した事業実施団体により、未就学児を対象にしたものや、膝腰にトラブルをかかえた引きこもりがちになっている方を対象にスポーツに親しむイベントが実施された。

#### ②スポーツ大会等の開催（成人）（拡充）

（27年度）

- ・5月27日 鳴門市チャレンジデーの開催。  
30,295人 49.9%の参加率
- ・28年2月14日 第43回クロスカントリー大会の実施。  
8歳～80歳までの老若男女372名が参加 一般（小・中・高校生以外）…69人

(28年度)

- ・5月25日 鳴門市チャレンジデーの開催。  
35,142人 58.5%の参加率
- ・29年2月26日 第44回クロスカントリー大会の実施。  
8歳～75歳までの老若男女368名が参加 一般(小・中・高校生以外) … 55人

(29年度)

- ・5月31日 鳴門市チャレンジデーの開催。  
38,115人 64.0%の参加率
- ・8月24日に市制施行70周年を記念して、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を実施。  
早朝の開催であったが、1,300人(公表1,222人)程度の参加者により盛大に実施された。 (新規)
- ・30年2月25日 第45回クロスカントリー大会の実施。  
8歳～79歳までの老若男女290名が参加 一般(小・中・高校生以外) … 72人

### ③学校体育施設の活用(拡充)

(27年度)

- ・市内の14小学校、4中学校においてスポーツ少年団をはじめ、様々な団体が学校体育施設の活用をした。
- ・学校体育施設を開放している学校の教員や利用団体に対して、アンケートを送付し、使用料金や、照明の使用状況についての調査を実施した。 (新規)
- ・教育委員会・学校・地域社会が運営協議会等を組織しての管理運営手法や、受益者負担について検討を行った。 (新規)

(28年度)

- ・市内の14小学校、4中学校においてスポーツ少年団をはじめ、様々な団体が学校体育施設の活用をした。
- ・平成29年1月より、学校体育施設の使用状況を把握するため、開放している学校へ報告書の提出を依頼、調査を開始。引き続き、管理運営手法・受益者負担につき検討した。 (新規)

(29年度)

- ・市内の14小学校、4中学校においてスポーツ少年団をはじめ、様々な団体が学校体育施設の活用をした。

- ・モデル校において、運営協議会（仮）を設立のうえ、管理運営手法や受益者負担について、利用者とともに検討する。 （新規）

#### ④スポーツボランティアの拡充（拡充）

体育協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、指導や、大会運営、団体の運営等に関わるスポーツボランティアの拡充を図る。（子育てが落ち着いた女性、高齢者）

（27年度）

- ・総合型地域スポーツクラブ等での大会や、イベント運営を通じた、地元学生との連携により、スポーツボランティアの発掘を進めた。

（28年度）

- ・総合型地域スポーツクラブ等で、鳴門教育大学生との連携、看護師資格を持つ人の手助けも得て、大会運営を行うなど、専門的資格を持つスポーツボランティアの発掘も進めた。

（29年度）

- ・総合型地域スポーツクラブ等での大会や、イベント運営を通じた、地元学生との連携により、スポーツボランティアの発掘を進めた。

#### ⑤観るスポーツの機会の創出

プロスポーツチーム（ヴォルティス・インディゴソックス）と連携し、市民のスポーツ観戦の推進。スポーツに参加するきっかけやスポーツに打ち込む意欲を高める。

（27年度）

- ・徳島インディゴソックスにより、8月に鳴門オロナミンC球場にて、スポーツ少年団の団員を対象に、試合観戦に無料招待。

（28年度）

- ・徳島インディゴソックスにより、6月に鳴門オロナミンC球場にて、スポーツ少年団の団員を対象に、日台（台湾）交流試合の観戦に無料招待。

（29年度）

- ・徳島インディゴソックスにより、5月に鳴門オロナミンC球場にて、スポーツ少年団の団員を対象に、試合観戦に無料招待。セレモニーキッズやボールボーイの体験が出来た。

## ⑥スポーツ情報の発信（拡充）

より多くの市民にスポーツに関する情報を伝え、スポーツへの参加を促進する。

（27年度）

- ・チャレンジデーの開催、陸上、体操協会などの教室の開催の案内を広報なるとに掲載。その他、市の公式ウェブサイト、市民会館のスポーツ情報コーナーへのチラシの設置等によりスポーツ情報を周知した。

（28年度）

- ・チャレンジデーの開催、陸上、体操協会などの教室の開催の案内を広報なるとに掲載。その他、市の公式ウェブサイト、市民会館のスポーツ情報コーナーへのチラシの設置等によりスポーツ情報を周知した。

（29年度）

- ・チャレンジデーの開催、陸上、体操協会などの教室の開催の案内、生涯スポーツ推進事業のイベント情報を広報なるとに掲載。その他、市の公式ウェブサイト、市民会館のスポーツ情報コーナーへのチラシの設置等によりスポーツ情報を周知した。
- ・市の公式ウェブサイトでの徳島県開催のスポーツイベント周知やクロスカントリー大会開催案内の周知範囲の拡大を行った。 （新規）

## 施策（2）高齢者のスポーツ活動の支援

### ①介護予防事業との連携

介護予防には、日頃の体力・健康づくりが重要。連携により高齢者の健康意識を高め、健康増進等図る。

（27年度）

- ・長寿介護課、健康づくり室実施の事業により使用する場合、市民会館・体育センターの無料貸し出しを行った。

（28年度）

- ・長寿介護課、健康づくり室実施の事業により使用する場合、市民会館・体育センターの無料貸し出しを行った。

（29年度）

- ・長寿介護課、健康増進課実施の事業により使用する場合、市民会館・体育センターの無料貸し出しを行った。

## ②高齢者スポーツの支援（拡充）

（27年度）

- ・総合型地域スポーツクラブによる、高齢者を対象にしたプログラムの実施。生涯スポーツ推進事業を活用した太極拳等の実施。 （新規）

（28年度）

- ・総合型地域スポーツクラブによる、高齢者を対象にしたプログラムの実施。生涯スポーツ推進事業を活用したカローリング等のニュースポーツを市内各地で実施。 （新規）

（29年度）

- ・総合型地域スポーツクラブによる、高齢者を対象にしたプログラムの実施。生涯スポーツ推進事業を活用した、外出を控える高齢者を対象とした、筋力アップを目指すエクササイズの実施。 （新規）

## 施策（3）障がい者のスポーツ活動の支援

### ①障がい者スポーツの支援（拡充）

（27年度）

- ・28年2月より体育センターにおいて、NARUTO 総合型スポーツクラブが、障がい者のスポーツ活動を実施。

（28年度）

- ・生涯スポーツ推進事業を活用し、鳴門市総合運動場、鳴門勤労者体育センターにおいて、NARUTO 総合型スポーツクラブが、障がい者のスポーツ活動を実施。
- ・NARUTO 総合型スポーツクラブが、徳島県内初の障がい者の軟式野球チーム「徳島ウイングス（2015年発足）」の対戦相手を仲介するなど支援を実施。

（29年度）

- ・体育センター貸出しによる、障がい者バスケットボール実施の場を確保。

### ②障がい者スポーツ・レクリエーション大会の支援

（27年度）

- ・徳島マリニピアライオンズクラブ結成20周年事業として徳島県身体障がい者軟式野球チーム「徳島ウイングス」設立ふれあい交流大会が、NARUTO 総合型スポーツクラブ協力



で、平成 28 年 2 月 21 日に鳴門市総合運動場で行われた。当日は徳島ウイングスの選手 13 名、関係者を含め総勢 80 名が集まり、神戸コスモス、愛媛ブレイドと試合を行った。

(28 年度)

- ・市の生涯スポーツ推進事業補助金を活用し、NARUTO 総合型スポーツクラブで軟式野球にふれあう機会や、徳島インディゴソックスとの連携を実施。障がい者が、気軽に楽しめるニュースポーツやバスケットボールを楽しむ場も提供された。

(29 年度)

- ・スポーツ推進委員の県大会において、鳴門市のスポーツ推進委員も含めた県内のスポーツ推進委員が集まり、高知県及び県内の障がい者バスケットボールを実施する方々の指導により、障がい者スポーツの体験やスポーツ推進委員の役割の研修が行われた。

## 施策（４）競技スポーツの支援

### ①学校・社会体育施設の優先使用

(27 年度)

- ・総合型地域スポーツクラブへ市民会館・体育センターの休館日等に無料貸出。
- ・体育協会が大会を開く場合に、市民会館の無料貸出の実施。

(28 年度)

- ・総合型地域スポーツクラブへ市民会館・体育センターの休館日等に無料貸出。
- ・体育協会が大会を開く場合に、市民会館の無料貸出の実施。

(29 年度)

- ・総合型地域スポーツクラブへ市民会館・体育センターの休館日等に無料貸出。
- ・体育協会が大会を開く場合に、市民会館の無料貸出の実施。

### ②全国大会及び世界大会等出場支援

(27 年度)

表⑥、⑦参照

- |            |                                |
|------------|--------------------------------|
| ・全国大会出場支援者 | 激励金の支給                         |
| 国民体育大会     | 29 人＋冬季国体 1 人                  |
| その他        | 88 人（全国中学校体育大会、陸上、空手、体操、サッカー他） |
| ・世界大会出場支援者 | 激励金の支給                         |

伊藤 舞 (マラソン) 2015 世界陸上競技選手権 (北京) 大会

(28年度)

- ・全国大会出場支援者 激励金の支給  
国民体育大会 32人  
その他 134人 (バレー、バドミントン、ドッジボール、陸上他)
- ・世界大会出場支援者 激励金の支給  
伊藤 舞 (マラソン) 2016 リオデジャネイロオリンピック出場

(29年度)

- ・全国大会出場支援者 激励金の支給  
国民体育大会 31人 + 冬季国体 1人  
その他 82人 (陸上、空手、バスケットボール、ラグビー他)
- ・世界大会出場支援者 激励金の支給  
石川 佳彦 (陸上) 2017 IAU 24時間走世界選手権大会

### ③顕彰制度の推進 (成人)

(27年度)

- ・鳴門市体育協会表彰 **表③参照**  
功労者表彰 5人 陸上競技、弓道、サッカー、ラグビー、ソフトテニス協会指導者  
優秀者表彰 17人 陸上競技、ソフトボール協会、ウエイトリフティング、ボウリング  
奨励者表彰 1人 ソフトテニス協会

(28年度)

- ・鳴門市体育協会表彰  
功労者表彰 5人 柔道、バレーボール、卓球、空手、ソフトテニス協会指導者  
優秀者特別表彰 1人 2016 リオデジャネイロオリンピック出場 伊藤 舞  
優秀者表彰 9人 陸上競技協会、ボウリング  
奨励者表彰 1人 陸上競技協会

(29年度)

- ・鳴門市体育協会表彰  
功労者表彰 4人 柔道、陸上競技、卓球協会指導者、小学校体育連盟役員  
優秀者表彰 11人 陸上競技協会、ボウリング、ウエイトリフティング  
奨励者表彰 1人 ソフトテニス協会

### 基本目標 3 市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

- 目標
- ・総合型地域スポーツクラブの利用者数（延べ人数）の増加
  - ・総合型地域スポーツクラブの認知度を高める
  - ・市及び市スポーツ関連組織が開催する、安全確保の講習会等への指導者や競技者等の参加者数（延べ人数）の増加

#### 施策（1）スポーツ関連組織への支援

##### ①体育協会への支援（拡充）

（27年度）

- ・鳴門市より体育協会へ1,245,000円の補助金。体育協会加盟団体へは、年度に実施する事業内容により活動費補助金額が決定。（新規）  
平成27年度：25団体860千円。（1団体2～4万円）

（28年度）

- ・鳴門市より体育協会へ1,245,000円の補助金。体育協会加盟団体へは、年度に実施する事業内容により活動費補助金額が決定。  
平成28年度：25団体862千円。（1団体2～4万円）

（29年度）

- ・鳴門市より体育協会へ1,245,000円の補助金。体育協会加盟団体へは、年度に実施する事業内容により活動費補助金額が決定。  
平成29年度：25団体876千円（申請金額）。（1団体2～4万円）

##### ②スポーツ推進委員会への支援（拡充）

（27年度）

- ・推進委員25名に対し報償費として、年間1,125,000円を支給。推進委員会の活動費として使用。
- ・11月12、13日に愛媛県松山市において全国スポーツ推進委員研修会が開催。推進委員会長の旅費を負担。全国大会へは、他に推進委員3名が参加。
- ・平成28年1月16、17日に四国地区スポーツ推進委員研修会が徳島市において開催。市よりマイクロバスを配車。推進委員10名参加。

- ・鳴門市ウチノ海総合公園等で開催された市事業等において、NARUTO 総合型スポーツクラブ運営のイベントに参画し、調整・企画等、精力的な活動を行った。

(28年度)

- ・推進委員 25 名に対し報償費として、年間 1,125,000 円を支給。推進委員会の活動費として使用している。
- ・11 月 17、18 日に福井県越前市において全国スポーツ推進委員研修会が開催。推進委員会長の旅費を負担。全国大会へは、他に推進委員 5 名が参加。
- ・鳴門ウチノ海総合公園等で開催された市事業等において、NARUTO 総合型スポーツクラブ運営のイベントに参画し、調整・企画等、精力的な活動を行った。

(29年度)

- ・推進委員 25 名に対し報償費として、年間 1,125,000 円を支給。推進委員会の活動費として使用している。
- ・11 月 9、10 日に茨城県つくば市において全国スポーツ推進委員研修会が開催。推進委員会代理の旅費を負担。全国大会へは、他に推進委員 2 名が参加。
- ・鳴門市ウチノ海総合公園等で開催された市事業等において、NARUTO 総合型スポーツクラブ運営のイベントに参画し、調整・企画等、精力的な活動を行った。

### ③総合型地域スポーツクラブへの支援（拡充）

(27年度)

表⑧参照

- ・総合型地域スポーツクラブへ市民会館・体育センターの休館日等に無料貸出。
- ・3月の広報なるとへ総合型地域スポーツクラブの会員募集案内、市公式ウェブサイトでのクラブの常時紹介。
- ・総合型地域スポーツクラブ2団体に対して、10万円ずつ市より補助金交付。
- ・2団体が企画提案型の補助事業である、生涯スポーツ推進事業を実施していることから、事業実施の補助金を交付した。 (新規)

(28年度)

- ・総合型地域スポーツクラブへ市民会館・体育センターの休館日等に無料貸出。
- ・3月の広報なるとへ総合型地域スポーツクラブの会員募集案内、市公式ウェブサイトでのクラブの常時紹介。
- ・総合型地域スポーツクラブ2団体に対して、10万円ずつ市より補助金交付。
- ・2団体が企画提案型の補助事業である、生涯スポーツ推進事業を実施していることから、事業実施の補助金を交付した。

(29年度)

- ・総合型地域スポーツクラブへ市民会館・体育センターの休館日等に無料貸出。
- ・3月の広報なるとへ総合型地域スポーツクラブの会員募集案内、市公式ウェブサイトでのクラブの常時紹介。
- ・総合型地域スポーツクラブ2団体に対して、10万円ずつ市より補助金交付。
- ・2団体が企画提案型の補助事業である、生涯スポーツ推進事業を実施していることから、事業実施の補助金を交付した。

## 施策(2) スポーツ活動における安全の確保

### ① スポーツ安全講習会等の開催(拡充)

スポーツ活動中の安全確保を図るため、指導者・審判等のスポーツ関係者を対象に、専門家を招いた講習会等を開催。

(27年度)

表⑨参照

- ・鳴門市子どもスポーツフェスティバルにおいて、講師を招きスポーツ事故対策などの、安全に運動を行う指導者講習会を実施した。15名参加。 (新規)
- ・NARUTO 総合型スポーツクラブと徳島県スポーツ振興財団の共催で、災害時の対処法及び救急救命法、子どもの発育発達に応じた運動指導法を内容とした講習が開かれた。35名参加。

(28年度)

- ・6月3日(金)徳島大学佐藤充宏教授により、「子どものスポーツ指導に暴力はいらない」と題した指導者研修会を開催。平日夜間の実施であったが、約60名のスポーツ少年団(野球)指導者等が集まり研修を受けた。
- ・東京より(株)CSPR講師を招いて、7月31日(日)に「スポーツ傷害対応・対策講習会」を行った。ケガをしたときの対応方法や判断基準、患部の状況、アイシングの必要性、手法についての講習会、又参加者にアイシングの体験をしてもらった。スポーツ少年団や体育協会の指導者も含め60名以上の参加者により実施した。

(新規)

(29年度)

- ・スポーツ少年団指導者・保護者が集まる会において、インディゴコンディショニングハウス代表の殖栗正登(うめぐりまさと)氏を講師として招き、「マラソンと呼吸と姿勢について」と題して、スポーツ実施時の正しい呼吸の仕方等について講習会を実施。20名が参加した。 (新規)

### 施策（３）スポーツ施設の改修・整備の検討

#### ①スポーツ施設の改修・整備の検討

（２７年度）

- ・鳴門市勤労者体育センターの耐震化の設計・工事の検討。

（２８年度）

- ・老朽化した鳴門市市民会館及び鳴門市勤労者体育センターを統合した、体育施設についての検討。 （新規）

（２９年度）

- ・ボートレース鳴門により、ボートレースプレゼンツとして、桑島テニス場において、人工クレイコート２面が完成。  
来年度にかけて、残り３面についても工事を実施中。 （新規）